

こじか荘かわら版

かんぱ〜い 秋

日頃の感謝を込めて 「これからも元気で お過ごしください」

コロナ禍で集合開催を控えていた【敬老会】。今年は3年ぶりに厳かに、そして時に賑やかに開催することが出来ました。午前中は式典を行い、今年百寿を迎えられるご利用者3名の他、ご長寿を盛大にお祝いし、調理員の心のこもったお祝い膳に舌鼓を打たれました。午後はガラリと雰囲気を変え、さすらいのドラマ(職員)を迎えての歌謡ショー。みなさんの楽しそうな笑顔をたくさん見ることが出来、職員一同大変嬉しく思っております。これからもお体に気をつけて末永く元気で過ごしてください。

さすらいのドラマ(職員)とパチリ

職員紹介インタビュー



そこに愛はあるんか？

ヨロシクお願いいたします

看護師 竹島恭恵



— まずはご出身を教えてください。

竹島 出身は岡山県北です。高校は岡山市内の准看護師学校へ進学しました。学校近くの小さな医院へ下宿してもらい、仕事をしながら准看護師を目指して3年間勉強しました。下宿先の医院では、看護師さんの補助や診療の介助(ガーゼ洗いや綿球づくり)などをしていました。あの頃は右も左も分らず働いていましたが、今思えばよくやっていたと思います。

— 准看護学校への進学を決めたきっかけは？

竹島 本当は歴史や文学が好きだったので、大学へ行きたいと考えていたのですが、母に「これからの女は手に職をつけなさい」と言われ、進学する事になりました。学校の先生はとても良い先生ばかりで、看護の事だけでなくいろいろな事を教えて下さいました。卒業する年の2月には、岡山県の准看護師試験を受験し、無事合格しました。合格後の進路相談では、先生に「正看護師になつたらどう？大阪の良い学校があるよ」と勧められ、大都会大阪がとても魅力的に感じたので、二つ返事で大阪へ行く事にしました。

— 大阪での生活はどうでしたか？

竹島 関西労災看護専門学校へ入学し、働きながら正看護師を目指しました。ですが、看護師になりたいと進んだ道ではないので、どこか勉強に身が入らず、成績は振るいませんでした。そして実習が始まると、少々の体調不良では休む事は出来ず、「薬を飲んで、這ってでも来い」と言われる様な時代でしたので、時には患者さんに「大丈夫か？」と心配される事もありました(笑)。レポートも膨大な量で、仕事をしながらこなすのは、とても大変でした。無事に実習が終わると、今度は国家試験が待ちました。インターネットがまだ普及していない頃で、合格発表は前日に新聞に掲載され、当日に会場へ掲載される方式でした。私は合格するとは思ってもいなかったもので、のんびりしていると、同時に受験した友人が確認してくれ、「ついでに見といたけど、合格しとったで！」と連絡を受けた事を覚えています(笑)

— 合格した後は？

竹島 附属病院の血液の病気が専門の病棟に配属になりました。まだ22歳頃の新人ナースで、それなりに勉強はしていたものの、分からない事だらけの毎日で、分からない所を自分で調べたり、同僚に聞いたりしていると、「そんなこともわからないの？恥ずかしくないん？」と師長や主任によく怒られました。もっとちゃんと勉強しておけば良かったと何度後悔した事か。。。 (笑)

— 大変な毎日でしたね？

竹島 そうなんです。毎日必死で仕事をしていました。そんなある日の夜勤での出来事なんです…。色々な事が重なってしまつて、当時はガラスのスピッツでしたので、せっかくの採血を移動中に落してしまう事がありました。とても反省し、医師と看護師長に連れられて、患者さんの所へ謝罪に行きました。謝罪すると、その方は「先生、この子を叱らなくて。この子はよく働いとつた。わしはよく見とつたんじや。頑張って仕事して疲れとつたんじやろ？わしはええええ。なんぼでも血、採つてくれ」と言って下さいました。後日医師に呼ばれ、「辞めようと思つてないか？この間の患者さんの言っていたように、君は愛される看護師や。そう言ってもらえるなんてありがたいことなんやで。君はそのままやええんや。だから、辞めるな！技術と知識はこれから。しっかり勉強なさい！」と言って下さった事が今でも忘れられません。

— 趣味や休日の過ごし方は？

竹島 以前から歴史が好きで、時代小説を読んだり、大河ドラマをよく観ています。最近まで《鎌倉殿の13人》に出ていた源実朝役の役者さんに心を奪われてソッコンだったのですが…半年くらいで男前に飽きてしまいました(笑)。今はアイフルのCMの今野浩喜さんにソッコンです。ドラマや舞台で活躍されていて、愛と悲しみを表現するのが素晴らしい、やっぱり顔じゃないんだなと。Youtube や E テレビにも出ているので皆さんもぜひ見て下さい。休日は…ほぼ家にいません(笑)。ドライブが好きで、一人や友人と尾道へ出掛ける事が多いです。主人には「よう遊んでじゃの」と言われますが、元気のうちに遊ばないと、いつ出来なくなるかわからないので、しっかり楽しみます。

ボランティア

- 7月
- 15日 おすび会(シーツ交換)
- 28日 鯉谷美紀枝様(散髪)
- 8月
- 26日 やすらぎ隊(草取り)
- 9月
- 23日 やすらぎ隊(草取り)
- 29日 鯉谷美紀枝様(散髪)



広報委員 田原史子

編集後記

朝夕の気温差が大きくなり、周囲が次第に秋めいてきました。今後も季節を感じていただきながら、ご利用者の様々な表情をお伝えしてまいりますので、お楽しみに。皆様も、お身体ご自愛ください。

面会について

三次市内でのコロナウイルスやインフルエンザの感染拡大に伴い、現在は玄関ホールにてパーティーション越しでの面会となっておりますが、状況に応じて変更してまいります。ご予約時に確認をお願いいたします。

七夕

特養



物故者追悼法要



誕生日会



米寿

百寿

傘寿

祝



日中はまだ暑い日もありますが、朝晩は随分涼しくなりました。季節の変わり目は体調を崩される方もおられますので、ご利用者の健康面に留意した支援をさせて頂きたいと思っております。

九月は「敬老月間」でした。こじか荘でも、人生の先輩方を敬い、感謝する気持ちを込め、「敬老会」と百歳を迎えられた利用者の方のお祝いを開催させて頂きました。

新しい職員を紹介します！



介護士 武田純子

10月から特養にて働かせていただく事になりました。私は「笑う門には福来る」という言葉が好きで、いつも笑顔で皆さんと関わっていきたく思っています。よろしくお願ひします。

こじか荘のひとコマ



あーとあい・きさ 作品展示



8月30日(水)～9月24日(日)まで、吉舎町の「美術館 あーとあい・きさ」にて、「根気・のんき・元気なわたしたち」と題して、こじか荘の特養やデイサービスのご利用者の方の作品(ちぎり絵や和歌など)、活動や生活の様子の写真と共に展示をしていただきました。こじか荘を多くの方にもっと知っていただくことになる良い機会となりました。たくさんのご来場ありがとうございました。

生きがい外出



通所

夏祭り



敬老会



寄付

八幡女性会様 (タオル)

ありがとうございました



今年も暑い夏でしたが、朝夕と涼しさを感じられるようになりました。デイサービスでは7月に夏祭りを開催しました。職員のだんちゃんできまり、紙太鼓の音で利用者もリズムをとり笑顔が溢れ、お祭りムードが一気に高まりました。その後カウボーイゲームや炭坑節を踊り大変盛り上がりしました。9月には敬老会を開催しました。日頃から、沢山の事を学ばせていただき、人生の先輩方に感謝を込めてお祝いをさせて頂きました。これからも利用者・職員と一緒に楽しめる行事など企画していきたいと思っております。